

# 善仁寺報 ゼンニンジ新聞

第七号

発行人 青山 满  
発行所 東京都文京区小石川一丁目一の四  
真宗大谷派 石川山 善仁寺

発行日 明治廿二年十一月廿五日

電話 ファックス 〇三(3511)3010  
メール kbkpm386@ybb.ne.jp  
ホームページ http://zenninji.web.fc2.com

## 知りたいお墓の「あれこれ」

久々本番になつました。善仁寺報、発行からおこづかとたまつて、「喪田の正月を迎えるよ」といふことがあります。来年もよろしくお願い申します。

さて今期は、「質問の多いお墓について記事にしてみました。まずは、浄土真宗のお墓はどうな決まりがあるのでしょか。留意すべき点をみてこまほしょ。

### ①どんな形のお墓?

まず、お墓の形です。和型と呼ばれるト団のよつな竿型、上口、トロの重合が一般的です。

五輪塔、観音像などの石仏、宝塔、洋塔などは建てません。

### ②文字は何を彫る?

お墓に彫る文字は「南無阿弥陀仏」または「俱念」処」として、家名や家紋などを台座の部分に彫ります。

### ③向き、材質は?

お墓の向きを気にする方が非常に多いですが、向かいよの善し悪しはありません。材質については特に決まりはありません。長年に亘って使うものです。

石屋さんともう相談して決めました。

### ④法名を彫りたいけど…

法名を彫る場所は墓石の側面に彫る方法とお墓の敷地内に「法名碑」という板状の碑を建てて、法名を彫る方法があります。

「墓誌」「靈標」ともいいますが、「法名碑」とあるのが相応しいで

## 善仁寺からのおねがい

善仁寺からの連絡に心あたりの無い方へ

この寺報は先代より引き継ぎました。檀家名簿に基づいて全員にお送りしております。その他は、同朋会に参加頂いたり、別途発送をお申込み頂いた方に限りお送りしております。



### Point!

真宗では教義上、卒塔婆は建てません。卒塔婆建ては不要です。(前住職の意向で卒塔婆を建てていますが、今後は取りやめたいと思います。)

お線香台は横に置くタイプを用います。立てません。

では、お墓を移したい場合はどうぞお問い合わせ下さい。

しあわ。なお、法名を碑や墓石に彫る事は、特にしきたりと決まっていなかったりともやべ。任意の判断でお決めてください。

この手続きを「改葬」といいます。まず、受け入れ先の許諾を受けます。書面で許可証などを発行してもいいことでしょう。そして、文京区役所の戸籍課へ行き、改葬届の用紙を入手し、必要事項を記入し、当方の許諾を得て下さい。(当方の署名押印が必要となります。)手続き終了後、墓石の移設または墓石撤去工事を行い、更地にして使用権を善仁寺に返却します。

お墓の承継者がいないとき

お墓の承継者がいない場合、永代供養をします。永代供養料をお納めいただきます。そして埋葬されてこの遺骨を共同墓へ移します。後は墓石撤去工事を行い、更地にして使用権を善仁寺に返却します。

総永代経法要(善仁寺の永代経の日は春秋お彼岸お中口です。)にて合同法要が行われますので、「参列下さる」。永代供養がお寺との縁が切れぬといふことではありません。

次のような方は当方で経縟 詳細調べますので、「連絡下さい。

「以前かの善仁寺から案内が来るけれど、善仁寺の檀家ではないし、送付を頼んでいない。」「善仁寺と云ふ寺には心当たりがないなぜ案内がくるのか分からぬ。」「お墓が善仁寺にあるのは知つてゐるが、祖父などが勝手に取られた他人のお墓であるので承継するつもりはない。」など

# 連載

仏陀～生涯と教え～④

## 「佛の三十一相」

…



「アシタ仙人（アシタ仙とも）」という方が登場します。雪山（ヒマラヤ）と考えられています）において修行中であった仙人が釈迦国を訪れました。釈迦国に奇瑞が現れたことを知ったためでした。

赤子の王子と対面したアシタ仙人はハラハラと涙を流しました。

不吉なことでもあるのでは、と思った

スッターダナ王がわけを尋ねると、

仙人は

「王子は王位つけば、転輪聖王（インド神話の理想の帝王）となり全世界を征服するでしょう。出家すれば、仏陀となり全人類を救うでしょう。しかし私は老齢でそれまで生きることができないので悲しいのです。」



「これを聞いた王は王位継承者の勇士を期待したのでしょうか、あるいは、王位が継がれない不安を感じたのでしょうか

アシタ仙人がシッタールタ王子に見たのは三十一の特徴でした。その一部を「頂髻相」といい肉が隆起しています。（肉髻）これは、広大無辺の智慧が詰まっています。

（いのり）と表しています。そして、眉間に白い毛が生え、あまねく世界を照らしています。「白毫相」といいます。

アシタ仙人がシッタールタ王子に見たのは三十一の特徴でした。その一部を「頂髻相」といい肉が隆起しています。（肉髻）これは、広大無辺の智慧が詰まっています。完全ではありませんが、これに倣って仏像や仏画などは造られています。仏様を「観」になる時に参考にしてみてください。

「へい！」

## 善仁寺からのお知らせ

### ● 東日本大震災義捐金のご報告

志納所横に設置しておりました募金箱に募金いただきました。金額は五万一千百十円となりました。これをもちまして、真宗大谷派東京教務所を通して被災地復興のために送金を先日完了いたしましたことを、ここにご報告申し上げます。

皆様のご理解ご協力、誠にありがとうございました。

### ● 親鸞聖人御絵伝修復募財終了のお知らせ

昨年十一月二十八日より一年間、寺宝である御絵伝の修復事業の為に、募財を行つてまいりました。善仁寺御門徒の約半数の方がご懇意下さいました。期日となりましたので、こちらの受付を終了とさせて頂きます。

未だ一幅も修復完了しておりません。ご披露、ご報告は別途ご連絡申し上げます。

皆様のご理解ご協力、厚く御礼申し上げます。

## 編集後記

今朝はお墓についても、佛の三十一相についても、まだまだ書き足りない思いです。

卒塔婆の廢止をするにあたって、卒塔婆の意味をまた、別の機会にご紹介したいと思います。

三十一相については実は「如來の三十一相八十種好」といいまして、その他にも八十もの身体的特徴があります。さらに、それ以外にもあります。

さて、先日は善仁寺同朋会の皆様と上野の博物館へ「法然と親鸞」展を観覧に行ってまいりました。親鸞聖人のご筆は独特の力強さと緻密さを感じました。冬も深まり、寒くなりました。風邪にはくれぐれもお気をつけになつて下さい。

合掌  
（じょうまん）